

# 立教 160

「神人の道」を開く

世に輝く  
明い光に

金光とはきんひか金光ると書き  
明あかい方はだれでも見ようが  
おいおいは明い方へ人が来る

立教聖場

## 立教神伝

金子大明神。  
この幣切り境に肥灰さしとめるから、  
その分に承知してくれ。  
外業はいたし、農業へ出、  
人が願ひ出、呼びに来、もどり。  
願いがすみ、また農へ出、  
またも呼びに来。  
農業する間もなし、来た人も待ち、  
両方のさしつかえに相成り。  
なんと家業やめてくれんか。  
其方四十二歳の年には、  
病気で医師も手を放し、  
心配いたし、神仏願ひ、  
おかげで全快いたし。  
その時死んだと思つて欲を放して、  
天地金乃神を助けてくれ。  
家内も後家になつたと思つてくれ。  
後家よりまし、もの言われ相談もなり。  
子供連れてぼとぼと農業しおつてくれ。  
此方のように実意丁寧神信心いたしおる氏子が、  
世間になんぼうも難儀な氏子あり、  
取次助けてやつてくれ。  
神も助かり、氏子も立ち行き。  
氏子あつての神、神あつての氏子、  
末々繁盛いたし、  
親にかかり子にかかり、  
あいよかけよで立ち行き、とお知らせ。

於 本部広前祭場

立教160年 生神金光大神大祭  
9月29日(日) 10月6日(日) 10日(木)

於 本部広前会堂

立教160年 立教記念祭  
11月15日(金)